



議会だより

2022年
5月1日発行
197号

みんなでキレイにしたぞ!
江差町クリーンアップ作戦
★江差フェニックス野球スポーツ少年団 参加

ここに
注目!!

一般会計総額56億8,250万円を可決

令和4年第1回定例会が3月14日から15日まで行われ、令和4年度各会計予算、各種条例改正、補正予算など、提案された案件を審議し、全て原案通り可決しました。

また、6人の議員が一般質問を行い、さまざまな観点から町政に問いかけました。



令和4年度 一般会計予算 総額56億8,250万円を可決

町政執行方針

本年度は、町長改選期にあたり、当初予算を、いわゆる「骨格予算」とすべきところだが、「第6次江差町総合計画」で掲げた方針に基づき、切れ目なく展開が必要な事業、さらには、圏域や近隣の自治体と連携して取り組む事業等についても提案させていただくこととした。

令和4年度、新たな日常のなかで、誰もが幸せと豊かさを感じ、安心して暮らすことができるよう、まちづくりに取り組む。



執行方針を表明する照井町長

《主要施策》

●町の直面する課題対策

- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・北の江の島構想
- ・旧江光ビル跡地活用

●産業基盤の維持・強化のまちづくり

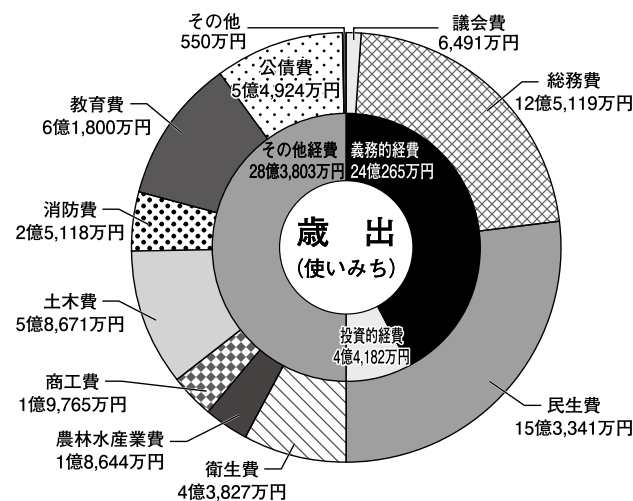
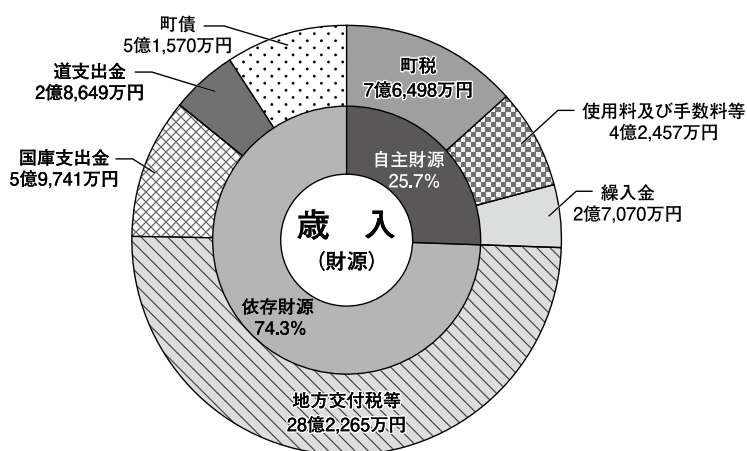
●不幸ゼロのまちの実現

●地域・未来を担う人づくり

●地域を支える社会基盤の整備

●期待と信頼の組織づくり

令和4年度一般会計予算の割合



令和4年度一般会計は

対前年比で0.2%減

令和4年3月定例会を、3月14日開会し、令和4年度予算を中心に、条例改正や補正予算など、提出された議案を慎重に審議しました。全て原案通り可決し、効率的な議会運営、審議を行った結果、15日に閉会しました。

予算の大半を占める令和4年度一般会計予算は、56億8,250万円で、対前年比0.2%減の予算額となり、議員から予算の使い方や今後の見通しなどについて質疑が行われました。

(主要事業は3ページ、予算質疑は4ページをご覧ください)

◎今年度の当初予算のポイントは？

- 町長の任期が8月7日に満了となることから骨格予算編成とし、新規の政策的な事業や建設事業に係る予算の計上は基本的には見送りとしました。
- 政策的な事業であっても、継続的に実施してきた事業や緊急性が高く早急に対応する必要がある事業、国庫補助金等を既に要望しており財源として見込まれるような事業については予算計上しました。
- 令和4年度当初予算案は骨格予算編成としつつも、上記のとおり一部の政策的事業・建設事業などを計上した結果、財政調整基金から1億円を繰り入れて編成しました。
- 地方交付税は、前年度当初予算比で2億8,100万円、12.47%増として見込んでいます。

◎地方創生に向けた施策等の推進

旧江光ビル跡地活用実施計画策定 2,130万円

「基本構想」及び「基本設計」を基に施設建設のための詳細な設計図等を作成するため実施計画を策定します。

北の江の島構想推進 1,120万円

北の江の島構想推進に向けて、昨年に引き続いて総務省のアドバイザーの支援をいただきながら基本計画を策定し、計画を仮想現実でお伝えできるように令和2年度に作成したVR内容を更新していきます。

“古くて新しいまち江差”観光振興（地域DMO）事業 3,400万円

通年観光・宿泊観光の推進、観光魅力度アップと情報発信強化などに取り組む北海道江差観光みらい機構の運営を支援します。

子ども医療費助成 1,920万円

保護者の経済負担を軽減し、家庭生活環境の向上のための支援で、高校生までの子どもの医療費を無料化します。

ふるさと応援寄附金対策 2億2,580万円

ふるさと応援寄附金の返礼品を通じて特産品開発や地域経済への振興を図ります。
※基金への積立金1億5,000万円を含んでいます。

多面的機能支払交付金事業 3,180万円

農道、灌漑施設の保安全管理や農用地の保全に関する取り組みに対して支援します。

◎公共施設関連事業

農業競争力強化農地整備事業 3,200万円

水堀地区の用排水の改修、ほ場の大区画や担い手への農地の集団化を進めて行きます。道営事業の負担金です。

町道五厘沢山崎線道路改良工事 1億3,900万円

五厘沢山崎線（L=1200m）の改良工事です。3か年計画の2年度目でR4は設計調査・本工事・用地取得を実施します。

町道円山団地3号通り道路改良工事 2,750万円

円山団地3号通り（L=490m）の改良工事です。3か年計画の2年度目で、下水道敷設工事も併せて実施します。

橋梁長寿命化補修対策 9,330万円

町道陣屋椴川線第3椴川橋架換工事の3か年計画の2年度目です。掛替工事・用地取得・物件保障を実施します。また、58橋のうち23橋の橋梁点検の委託をします。

普通河川豊部内川浚渫工事 1,500万円

普通河川豊部内川浚渫工事です（L=250m）。2

か年計画の2年度目です。

直轄港湾整備 2,200万円

南漁港区－3.5m物揚場整備。国直轄工事の負担金です。南漁港区－3.5m物揚場整備及び北埠頭－5m岸壁の整備となります。

江差町文化会館東側屋上防水改修 2,320万円

東側の小ホール屋上と南北両サイド廊下屋上の防水改修工事です。R4年度で屋上すべての防水工事が完了します。

公共下水道整備 2,670万円

江差4号枝線（円山団地地区）の污水管渠新設工事です。※公共下水道特別会計。

下水道管理センター長寿命化改修 1億6,600万円

ストックマネジメント計画に基づく江差上ノ国下水道管理センターの改修で、脱水機外処理設備改築工事と汚泥処理計装設備電気工事を実施します。※公共下水道特別会計

円山第3団地解体・除却 2,070万円

円山第3団地のうち3棟14戸の用途廃止をし、解体・除却を実施します。

◎その他

地域防災計画改定・個別計画作成業務委託 990万円【新規】

令和3年度中に予定している「日本海沿岸津波警戒区域」への指定や度重なる法改正に対応した内容とするため地域防災計画を改訂するほか、未策定となっている地域防災計画の個別計画も併せて策定します。

再生可能エネルギー導入マスタープラン検討業務 1,000万円【新規】

地域資源を活用し、再生可能エネルギーを地域内で最大限導入するための計画を策定します。また、改正温対法にもとづく国の計画等を把握し、必要な情報収集や調査検討も行います。

総合行政システム等機器更新 2,000万円【新規】

電算システムの更新時期到来に伴う更新で、令和4年度から5か年間の契約となります。

陣屋・円山法面崩落防止対策 7,000万円【新規】

令和3年度に実施した法面の町道南が丘通り側の崩落防止対策工事です。

江差町・上ノ国町学校給食組合負担金 2億2,440万円

給食センターの運営と令和4年度8月から稼働予定の新たな給食センターの整備にかかる負担金です。

参議院議員通常選挙 1,000万円【新規】

令和4年7月25日に任期満了となる参議院議員の通常選挙です。

予算質疑 令和4年度事業について意見！慎重に審議しました！

限られた財源の中で、どのように財政運営が行われているか。
本会議上での予算案への質疑等について、その一部を要約しご紹介します。

リサイクルの方針は

組合と構成町で協議

- Q 江差町としての今後のリサイクルの在り方、方針はどうなっているか。
- A 南部松山衛生処理組合において、施設の新設も含めた長寿命化計画案の策定を進めている。多額の費用が伴う計画なので、今後組合と構成町で協議が進むことと思う。

避難行動要支援者の個別避難計画を

順次作成の予定

- Q 町の地域防災計画で、避難行動要支援者の個別の避難計画を作るべきでは。
- A 災害発生時の避難支援方法や避難場所、避難経路、具体的な避難方法についての個別計画を順次作成する予定である。

生活支援コーディネーターの事業展開は

まちカフェの団体設立する

- Q 第6次総合計画の実施計画における生活支援体制整備事業について、担当課の考えを教えてください。
- A 6年間積み重ねてきたまちづくりカフェが、ようやく団体設立まできた。しっかりと自立した団体に立ち上がっていただき、公的なサービスと地域住民が主体となっていく生活支援の体制にとり組む。

町営住宅の防災対策を

関わり方を検討したい

- Q 円山第2団地、中歌町団地は土砂災害の警戒区域に入っており、個別に避難計画の対策をとる必要があると思うがどうか。
- A 町営住宅の管理者として、個別計画の中にどのような関り方をすべきか検討したい。

移動図書館の代替案は

公共施設の利用を検討

- Q 移動図書館が事務事業見直しになっているが、代替案として具体的にどのようなことを考えているか。
- A まだ具体的にお示しできるものは無いが、内部の検討段階では、水堀のコミュニティセンターや南が丘ふれあいセンター等の公共施設の利用を検討している。

運動公園街路灯の整備を

全体計画の中で検討

- Q 運動公園外周の街路灯が故障している。以前は熊の出没など危険な環境にあったが、修繕や建て替えの考え方は。
- A 昨年度、一部修繕した。今年度は予算化されていないが、運動公園全体の修繕の中で対応したい。

加工品からふるさと納税への仕組みづくりを

ふるさと納税を基軸に取り組みたい

- Q ふるさと納税の返礼品として生だけではなく、加工して高単価の商品に繋げる仕組み作りを行政として考え、経済に繋げていくことが大事ではないか。
- A アワビの加工品で、煮たアワビと蒸したアワビのパッケージを作って商品化するところまでできており、フリーズドライの可能性も追求している。
ふるさと納税を基軸に、この町がしっかりと財政基盤強化する中で取り組みたい。



好調な出荷の蝦夷あわび

第1回定例会 こんなことが決まりました！

補正予算

- ◇新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 ▲1,263万7千円
(減額補正及び財源更正)
- ◇各種事業不用額 ▲1億2,381万5千円
(減額補正及び財源更正)
- ◇総務管理事務(地域振興派遣負担金)
36万9千円(全額一般財源)
- ◇行政情報化・電子自治体推進
262万9千円(全額国庫支出金)
- ◇減債基金積立(臨時財政対策債償還基金費)
3,817万9千円(全額一般財源)
- ◇江差町かもめ島交流拠点づくり基金積立
1,000万円(全額その他特定財源)
- ◇生活交通路線等維持費補助
83万1千円(全額一般財源)
- ◇江差町企業版ふるさと納税地方創生基金積立
1,001万円(その他特定財源ほか)
- ◇江差町山アンテナ中継局受信アンテナ放射器改修
223万3千円(全額一般財源)
- ◇江差新栄テレビ中継局設備改修
875万6千円(全額一般財源)
- ◇江差南が丘デジタル無線共聴施設パンザマスト改修
572万円(全額一般財源)
- ◇社会福祉法人が行う利用者負担軽減事業補助
528万8千円(道支出金ほか)
- ◇障害福祉サービス等給付
1億4,500万円(国庫支出金ほか)
- ◇保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業
25万3千円(全額国庫支出金)
- ◇檜山地域人材開発センター正面外壁改修
1,611万5千円(全額一般財源)
- ◇江差町農地流動化促進補助
130万8千円(地方債ほか)
- ◇かもめ島島上ステージ外壁改修
844万7千円(全額一般財源)
- ◇直轄港湾整備(国第1次補正分)
5,900万円(全額地方債)
- ◇文化会館非常用発電機バッテリー交換
118万5千円(全額一般財源)

その他

- ◇令和2年度江差町教育委員会に関する事務の管理・執行状況の点検・評価報告
- ◇江差町財政調整基金の処分
- ◇江差町公共下水道江差・上ノ国下水道管理センターの建設工事委託に関する協定の一部変更
- ◇工事請負契約の締結(町道砂川4号通り道路改良工事)

条例改正

- 法律の期限切れに伴う条例の改正
- ◇町職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正
- ◇江差町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
- ◇江差町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正
- ◇江差町職員の給与に関する条例の一部改正
- ◇江差町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ◇江差町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

条例廃止

- ◇江差町営レストラン管理条例の廃止

人事

- ◇人権擁護委員候補者の推薦(再任)
松村 直人 氏
(本町・51歳)
- ◇人権擁護委員候補者の推薦(新任)
山田 清美 氏
(本町・62歳)



第1回定例会 行政報告

定例会で次のとおり、町長が行政報告をしました。



- 1 新型コロナウイルスワクチン3回目接種の進捗状況について（2月末時点）
 - 対象者 5,169名
（2回目接種から6か月以上経過）
 - 接種者 2,968名（57.4%）
（うち高齢者 2,398名）
- 2 江差町文化会館移動観覧席改修事業補正予算に係る積算誤りについて

事業費積算の際に消費税を見落とし、税抜きで算定。担当者及び上司も気付かず議会で補正予算を議決したため、改めて消費税分を議決いただいた。

再発防止に努めるとともに、担当者及び担当課長を厳重注意処分とした。
- 3 「日本で最も美しい村」連合5年目審査結果について

最も美しい村づくりの基本理念が継承されているか、より美しい村づくりを目指して運動が定着しているかについて、5年ごとに連合の審査を受ける現地審査が実施された。

審査内容をもとに連合内での資格審査委員会、理事会での協議を経て「審査通過」の通知を受領した。
- 4 寄附採納について
 - ・ヒダホールディングス株式会社
代表取締役 小池 一三 様
現金1,000万円（北の江の島構想の実現に向けて活用）
 - ・有限会社中川清掃社 代表取締役 中川 一夫 様
消毒用物品20万円相当（役場来庁者及び職員の新型コロナウイルス感染予防のため）
 - ・信金中央金庫 理事長 柴田 弘之 様が創設の「SCBふるさと応援団」に申請していた「豊かな前浜プロジェクト（略称：ハマプロ）～つくり・育てる漁業を核とした地域経済の好循環の実現を目指して～」が採択
現金1,000万円（企業版ふるさと納税として）
 - ・生活協同組合コープさっぽろ 理事長 大見 英明 様
交通安全ランドセルカバー20枚（新入学児童の安全への願いを込めて）

意見書を提出

3月定例会では1件の意見書を提出し、可決。関係行政機関へ提出しました。

◆水田活用の直接支払交付金見直しに関する意見書

一般質問 六議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質することができる唯一の場です。

◆質問は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の①、②はそれぞれ再質問、再再質問を表します。



室井 正行 議員 (自民党)

3月定例会 一般質問

都市計画用途地域の見直しは 答 見直し検討の議論を深める

都市計画区域指定は中心市街地に用途地域の網をかけ、建築物が無計画、無秩序に建築されないよう、制限をしている。

用途地域指定から約50年経過し、当時と今日の江差町の実態を比較すると、整合性の確保に極めて大きな疑問を抱いている。

立地適正化計画コンパクトシティ構想の推進、町づくり、市街地形成の多様性などの観点から、用途地域の見直しも含め、十分検討するべきと考えるが如何か。

併せて、都市計画審議会での早期検討と専門的知見を有する委員の補充、見直し等に着手するべきと考えるが如何か。

町長 用途地域指定は昭和48年3月に指定がなされ、平成6年の都市計画法の改正による用途地域の変更など5回の見直し、変更を行ってきた。

北の江の島構想の推進は 答 人の流れを作る施策を展開

北の江の島構想は、一つの施設を建替え、改修、機能増加するのみではなく、かもめ島周辺全体構想の中での位置付けと有機的連携事業が大きく求められていると考える。

江差町の財政課題と北の江の島構想の推進実現は表裏一体であり、補助、交付金が2分の1程度の事業では、全体構想を描くには相当厳しいと認識する。

国道から、かもめ島を含む全域を特別区域にするように、整備可能な事業が展開できるような全体構想を早期に作成し、国へ強く強く働きかけるべきだと思いが如何か。

町長 当町の財政状況は、平成20年度決算で策定した財政健全化計画では、その要因として、檜山広域行政圏の中心都市で政治、経済機能などあらゆる分野の拠点であり、多くの歴史文化遺産が存在することから観光のまち

への政策の転換や近代化等の都市改造が必要とされる時期と重なっていたこともあり、インフラの整備が促進されるなど大型公共施設等の整備を進めたことや、湧水対策として水道資源開発事業を進めたことなど多層的なものと分析している。

これまで、行政、議会、町民が一丸となつて財政健全化に取り組んだ結果、実質公債費比率も下がり、基金も増加し、今に至っているものと認識している。

北の江の島拠点施設整備構想に関して、構想策定段階で実施した道南圏の方々対象のアンケート調査によると、かもめ島は江差の観光の中心であり、また、いにしえ街道は来てくたさった方々にとって満足度が高い場所という調査結果となっている。

日本遺産の構成文化財に代表されるような個性的で独自性豊かな

本物を数多く保有する江差町は、新しい時代の観光において優位であると考える。

北の江の島構想は、こういった歴史性や新しい資源を融合させ、面的な魅力の向上を図りながら、地域の人にとっては日常的に足を運びたくなる、町外の方についても一人でも多くの方が江差を目指してくださる場所となるよう整備を進める。

令和6年度着工を目指すにあたって、現時点で地方創生拠点整備交付金の申請を検討している一方で、面的な魅力を生かした人の流れを作るための施策を展開するために、多様な切り口での財源対策を追求していく。



開陽丸を中心に整備される北の江の島構想



小梅 洋子 議員 (無党派)

3月定例会 一般質問

3選出馬の表明を 答 次の4年間も汗を流す

7月の町長選挙まで残された任期は4か月ほどになった。

これまで掲げてきた多方面にわたる目標や事業に対しての成果は、概ね認められていると思うが、町長公約の目玉である北の江の島構想を始め、江光ビル跡地活用事業、公共交通Masの導入、財政基盤強化等、課題が山積している。

今こそ3選出馬への意思を表明すべきと考えるが如何か。

町長 私は平成26年以来7年半の間、町民の声に真摯に耳を傾け、その声を町政に反映させるため、町政運営を担ってきた。

2期目では、北の江の島構想や旧江光ビル跡地等による地域の活性化策、不幸ゼロの町の実現、民間企業や大企業と連携した少子高齢化対策等、全力を注いできた。

ここ2年間は、新型コロナウイルス感染症

ドローン活用なぜ休止 答 活用は継続

ドローンは無人で遠隔操作や自動制御によって飛行でき、観光や災害救助、建設、産業、輸送など、広い範囲で活用されている。

道の方針では、冬季の低温や降雪下でドローンを安全に飛ばす実証実験に着手し、想定する地域でのドローンの活用法は、過疎集落への荷物の配送、大規模な災害時、上空から被災地の撮影確認、野生動物の追い払い、山奥での森林調査等が挙げられている。

農業でのドローン活用相談では、ワンストップ窓口を設けて対応をするなど、ドローン事業の展開を後押しする意向が感じられた。この度、町から示された財政基盤強化に向けた取り組みでは、ドローン活用推進事業が休止、研修も当面休止となっている。

空の産業革命といわれるほど、目覚ましい活躍で注目を集めてお

り、今後ますます活用が期待される事業だと思いが、休止の理由をお聞かせいただきたい。

町長 ドローン活用自体を休止するということではなく、操縦の研修を当面休止するものである。

ドローンを導入した平成29年度以降、令和2年度まで操縦研修を実施してきたが、令和3年度からは新型コロナウイルス感染症の影響で講師を招聘することができないなど実施が困難となったことや、操縦できる職員が一定程度確保できていることから、当面の間休止するもの。

操縦講習の受講者数は、町職員のほか、みらい機構や開陽丸の職員も含めて17人で、そのうち町職員は14人となっている。

建物などとの距離が30メートル未満の区域などを飛行させる場合は、地方航空局の承認が必要であるため、講

習を受講した職員は全員10時間以上の自主的な飛行訓練を実施している。

再 今年の冬は雪による倒壊事故なども生じてきている中で、こんな時こそドローン活用の必要性を感じたが如何か。

財政課長 雪に限らず、例えば大雨など、災害対策ということで広く考え、その中で活用策を考えて運用していきたい。



ドローン操縦説明を受講する職員ら



眞議員(無党派)

塚本

3月定例会 一般質問

町の業務継続計画策定は

答 行政の停滞を招かぬ対応する

町として、新型コロナウイルス感染症拡大に備えた業務継続計画の策定は、どのような現況になっているか。

町長 町では感染症に係る業務継続計画については策定していません。職員の感染防止策や感染者等発生時のマニュアルに修正を加えています。今後も発生状況に

交付金見直しで農家は不安

答 農業者や関係機関と連携

水田を耕作している農業者は国の要請で水稲に代わる作物の栽培に取り組んできているが、転作田を5年に一度、水田に戻さないという交付金が出ないという

指針が出ている。交付金の見直しにより、町内の農業者の間でも不安が広がっているが、町としての対応を伺いたい。

町長 国の示した見直し内容は、水田農業の経営に様々な影響を及ぼす可能性があるものと考えている。

これまで、北海道を中心に交付金の見直しに係る関係機関連絡会議が組織され、全道一円の実態調査、今後の対応に関するロードマップの作成を行った。農業者や関係機関と



農家の不安を取り除く対応を

地域再生エネルギーの導入目標は

答 マスタープランで目標値設定

北海道が進めている脱炭素社会、ゼロカーボン北海道にあたって再生可能エネルギーの最大限の活用に取り組みることが有効であり、加えて檜山沖海上風力発電の推進の取り組みも加速させていくことは急務と考えている。

進める事業で、江差町は本計画に推進の立場を表明し、国の洋上風力案件形成に向けた導入可能性調査に応募して採択された。

地域再生エネルギー導入に関する現況、そして今後の目標を伺いたい。

町長 檜山沖海上風力発電は国が主体として

小学校教科担任制の対応は

答 指導体制の構築に努める

新年度より、全国的に小学校高学年に教科担任制が導入される。既に江差北中学校区で小中型一貫教育が取り組まれ、外国語の他、理科、算数の教科が例示されている。

教員が複数学年の授業を実施している。南が丘小学校は理科と算数の授業で校内の加配教員が複数学年の授業を実施している。

新年度より江差中学校区の対応を伺いたい。

教育長 江差小学校においては、専科指導を行う教員により理科の授業で教科担任制を敷くことができていますが、算数では自校内の加配

り入れ授業の実施や、各校の自校内の加配教員による複数学年の授業実施等を通じ、指導体制の構築に努めたい。

再 教科担任制の担当教員確保のために、どのような方策を考えているか。

定例会
臨時会
行政報告
一般質問
委員会
出欠報告



出崎 太郎 議員 (無党派)

3月定例会 一般質問

道の駅整備にデジタル技術を用いた基本計画策定で知見活用

「エエ町江差、エエ時間、親子のたまり場、かもめ島」をコンセプトに海の駅開陽丸に新たに、道の駅機能を付加した施設にし、来年度から基本計画に着手するとのことであった。

周辺の町から遅れて本格的な道の駅を整備することになるが、後から新築するメリットとして、最新の科学技術を使用できる。

持続の可能性を追求して、施設整備、管理運用にデジタル技術、とりわけAI（人工知能）を取り入れてはどうかと思う。

公共交通計画等のまちづくりにおいて、公立はこだて未来大学との包括連携協定を締結しているとのことだが、基本計画作成に際し、同校の知見を活用して、いわば「スマート道の駅」を目指し、売りにしては如何か。

町長 昨年、町と公立はこだて未来大学は、

地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力のある個性豊かな地域社会の形成、発展に寄与することを目的に、連携事業に関する協定を締結した。

連携事業の内容は、1つ目は地域と交通。2つ目は情報技術の活用。3つ目は地域振興、地域課題の解決。4つ目は教育の推進、人材育成に関することとしている。

さっそく2月には、地域公共交通の分野において、新たな公共交通の導入に向けた実証実験で、同大学のベンチャー企業のお力を借りて、AIでの配車システムを試行したところである。

これから拠点施設である道の駅を整備していくにあたっては、これまでの道の駅と横並びではないかと理解している。

環境への配慮、交通拠点としての位置づけ、

来訪者を惹きつける魅力付けなど、差別化を図るためのあらゆる可能性を追求しながら基本計画に盛り込んでいく。

AIを活用する施設の管理運営について、例えば来館者数を予測しながら施設の温度管理を行う、あるいは飲食部門での食品ロスを減らしていくなどが想像できる。

今後、基本計画を策定する中で大学側の知見も活用しながら、こういった管理運営はもとより、施設整備でどんなことが可能なのかを意見交換を重ねてまわりたい。

再 包括連携協定の中で、その場合に係る費用についてどんな取り決めがなされているのか。

まちづくり推進課長 未来大との包括連携協定に関する連携協定は幅広であるが、まずは公共交通ということで、

去年、協定書を締結して以来、予算化は改めてしていない。

今年の2月にサツドラ、江差町、未来大、未来シェアという会社などが経産局の補助事業で取り組んでいる。

1月に、運行する事業者に対するテスト始動で未来シェアという会社が来た時に、大学の学生も来て頂き、その時の経費は今回補助

事業の中で賄っている。今後、北の江の島構想の基本計画の中でどんなことができるのか、少しずつ見えてくるものがあるれば議会の方にもお願いすることもあり得る。



道の駅機能が付加される海の駅開陽丸



小林くにこ 議員 (日本共産党)

3月定例会 一般質問

横山家の進捗及び今後は

答 課題を共有し解決へ

今般報告された観光動向調査分析を参考にすると、いにしえ街道は江差町の観光において重要なエリアであり、入り口にあり、始点とも終点ともいえるかもめ島、開陽丸記念館とともに重要なエリアであると再認識した。

現在休業となつている横山家の権利者の方との交渉の進捗状況は、また、今期のように降雪や強風による被害等、建物への損傷が発生する可能性を早期に確認、対応できる管理体制なのか。

今後の横山家のあり方、町として早期に方向性を定めるべきかと考えるが如何か。

教育長 横山家の当主

であった方が逝去されて以降、これまで相続人代表との協議を重ね、国の重要文化財を目指すことを条件に町が責任をもって後世に遺していくことを確認し、昨年9月に、江差町へ無償譲渡する旨の方向

で回答をいただいたが、その後、相続人間で無償譲渡に対する疑義が出されたことから、この間、無償譲渡に向けた合意形成について話し合いを継続していただいている。

教育委員会としても早期の解決に向け、相続人代表と合意できるような協議を続けていたが、昨年10月に、居住部分について一部有償としたいとする相続人連名での文書送付があり、横山家側の具体的な条件等の確認を進めていたところ、昨年12月、相続人代表について別な親族が代行する旨の連絡があり、12月に来町し、面談を行った。

面談において、相続人関係者及び財産内容について再確認するとともに、改めて町としては一括無償譲渡の考えは変わらないことを伝えたいと、具体的な条件について文書で回答を求めたところ、

1月11日付で、建物および文化財指定の生活用具等は全て無償譲渡の土地は全筆有償譲渡との回答があったことから、合意には至らず引き続き横山家側と交渉を継続している。

このため、施設の管理については、引き続き所有権者である横山家が行っている。

教育委員会としても、早期に方向性を決定していくことが必要であると認識しているが、まずは所有者との協議が整うことが前提であり、早期の解決に向けて協議を進めて参りたい。



譲渡交渉が続く横山家

運動公園に明確な案内設置を

答 必要な対策を検討

財政基盤強化に向けた取り組みにおいて、江差町総合運動公園の利用料の値上げを検討していくとのことであるが、野球場、サッカー場、テニスコート、パークゴルフ以外は多目的広場を含め、利用者がどこで何をしたいのか来園者には分かりにくい。

運動するエリアなのか、駐車場なのか等、曖昧な部分もある。明確な案内設置等を考慮すべきと思うが如何か。

利用促進に関して、年間パスなどを発行し、手ぶらで来てスポーツを楽しむでボールやラケット等の有償レンタル制度等も考慮して頂きたいと思うが如何か。

教育長 野球場、多目的広場、テニスコートなどの各施設は使用目的が定められているが、通路、緑地帯などはウォーキングや子ども達の遊び場として日常的に多くの方に利用さ

れており、マナーを守りながら利用していただいている。

また、多目的倉庫横の駐車場にバスケットゴールを設置し、多くの子ども達が遊んでいることなどから、安全に利用していただくためには、ルールやマナー等を明確化し、周知していくことは必要であると認識している。利用者が安全に安心して利用ができるよう、施設全体の利用実態なども確認しながら、町広報での周知等も含め、必要な対策について検討したい。

年間パスポートの発行やボール等の有償レンタル制度については、各施設の利用状況や利用者、各利用団体等のご意見もいただきながら、利用促進に向けた対策を検討したい。

的



小野寺 真 議員 (日本共産党)

3月定例会 一般質問

地域福祉計画の評価と課題は

答 アンケートで課題把握

現在の第4期計画をどう評価し、課題をどう認識しているか。
ワンストップ相談窓口の作成を検討してはどうか。

第5期計画で、地域の見守り支援体制の構築を支援とあるが、支援ではなく、町がイニシアチブを取ることが必要では。

町長 第5期計画策定にあたり町民アンケートを実施し、町からの情報発信、身近な交通手段の不足、町内会など地域の担い手不足等が課題として掲げられた。

福祉サービス相談は全世代に関わる幅広い相談があり、専門性や複数の課にまたがる組織機構が伴うようなワンストップ窓口は考えていない。
地域の見守り強化は、社協、町内会、民生委員協議会などが情報共有できる仕組み、体制づくりを検討したい。

ゼロカーボンシティ表明を

答 地域の状況で時期判断

道内でゼロカーボンシティを表明した自治体は檜山管内ではまだ無い。

町長が先頭を切って表明すべきでは。

マスタープラン検討業務についての考えは、また、農林地での再生エネルギー政策は。

町長 ゼロカーボンシティ宣言は、地域でのCO2排出量等を把握

し時期を判断したい。

再生可能エネルギー導入マスタープラン検討業務は、地域で合意された目標を定める調査検討やエネルギーの使用状況、温室効果ガス排出量の現状把握と将来性を含め整理する。

事業で得られる基礎情報をもとに、令和5年度中に地方公共団体実行計画を策定する。

総務課長 再生エネルギー導入マスタープランの作成後に、地球温暖化対策実行計画を令和5年度中に策定したい。

町が検査キット保有を

答 検査体制拡充を要請

町の感染状況がどうなっているのか。国道の方針ではよくわからなくなっているのではないか。

オミクロン株について国や道に感染ウイルスのゲノム解析を要請すべきと思うが如何か。

町としてPCR検査キットや抗原検査キットを保有しておくことが必要でないか。

町長 道は国の通知を踏まえ、同居家族など

の濃厚接触者に発熱や咳などの症状が出た場合は、医師の判断で検査を行わず、みなし陽性を可能とし、陽性者は公表しているが、みなし陽性者の数は公表していない。

ゲノム解析は道が行っているが、検査目的に必要な数の解析は行っているものと考え、全てのゲノム解析実施を要請する考えは持っていない。

町が検査キットを確保するのでなく、道や保健所等に改めて行政検査の体制拡充を要請したい。

再 LINE等で町の情報を出しているが、無料検査キット配布など道の情報も知らせるべきではないか。

健康推進課長 今後、道の事業も、ホームページやLINE等を活用して周知したい。



新たな5年間はじまった江差町地域福祉計画

～常任委員会、今はこんなことを調査しています～

よりよい町づくりのために

社会文教常任委員会 『学校施設整備に関する事務調査』

社会文教常任委員会（小野寺真委員長）は、令和3年第3回定例会で事務調査をおこし、5回会議を開催し、担当課の説明を求めて調査をした結果について、次のとおり意見を付して報告しました。

調査の結果

(1) 建て替えの江差中学校を除く各小中学校については、老朽化等による課題について、社会文教常任委員会でも、過去数次の事務調査が行われた。

直近では、平成30年12月3日に学校施設に関する事務調査の委員会報告で、雨漏り対策やトイレの洋式化、網戸の整備等の意見が出されている。

本委員会では、上記の意見で指摘していた事項について、教育委員会としてどのように対策が取られてきたのかを中心に、各学校の施設整備状況を担当課から聞き取りをした。

(2) 文科省が前倒しで進めてきたGIGAスクール構想による、児童生徒一人1台端末の整備状況についても、担当課から聞き取りをした。

なお、現地調査も検討したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から取り止めとしている。

これらの調査検討を踏まえ、次のとおり意見を付して報告する。

<意見>

1. 指摘事項の雨漏り対策について、江差小学校は令和2年度で正面普通教室棟の屋上防水改修工事、3年度に特別教室棟と旧幼稚園棟の屋上防水改修工事が終了している。

江差北小学校の雨漏りは、図書室での雨漏り対策が残ったままである。

については、児童の図書活動等に影響を与えることのないよう、また対策が遅れるほど雨漏りの状況が拡大することも考えられるため、早急な屋上防水改修工事を実施すること。

2. 指摘事項の網戸の未設置は、学校から要望のあった242箇所を令和2年度に設置。また、トイレの約半分が和式だったが、令和2年度に小中学校で計39か所の改修工事をし、100%洋式となった。

今後とも、児童生徒が安心して学業に専念できるよう、老朽化からくる施設の損傷等の状況を的確に把握し、改修等の対策を進めること。

3. 児童生徒一人1台のタブレット整備は、今年1月の新型コロナウイルス感染で学級閉鎖があり、小中学校でタブレットを持ち帰り、自宅からオンラインで繋げる実験を実施。また、各家庭・担任自宅・学校を結んだ双方向オンライン学習を実施した。

オンライン学習は、中学校では十分可能であるが、小学校低学年では操作方法等に課題が見受けられるとのことで、今後も教育委員会としての学校への支援が必要と考える。

4. 各学校にネットワークの大容量高速化の整備がなされ、ICT機器の活用が進んできているが、教員の働き方改革を進めるうえで、国が財政措置しているICT支援員の活用なども検討すること。



江差町でもタブレット授業がはじまりました（南が丘小学校・江差北中学校）

第一回臨時会

1月25日に第1回臨時会が行なわれ、一般会計の補正等について審議し、原案どおり可決、閉会しました。
内容は次のとおりです。

〔一般会計補正予算〕

◆令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業（子育て世帯への臨時特別給付（追加給付））
4,320万2千円
（全額国庫支出金）

◆新型コロナウイルス感染症の影響が様々な人に及ぶ中、子どもたちを支援する臨時特別給付金の支給のための経費。

◆住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業
1億6,716万8千円
（全額国庫支出金）

◆新型コロナウイルス感染症が長期化する中、生活・暮らしの支援のため住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給のための経費。

◆成年後見制度支援体制オンライン化推進事業 30万円
（道支出金ほか）

成年後見制度に係る相談業務

等のオンライン化を推進するための経費。

◆児童手当システム改修
49万5千円
（全額国庫支出金）

◆児童手当の制度改正に伴うシステム改修の経費。

◆大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査
1,800万円
（国庫支出金ほか）

◆大規模盛土造成地の安全性の確認・把握のための調査経費。

◆図書館資料整備 10万円
（その他特定財源）

◆図書館の図書購入のための経費。

◆文化会館移動観覧席改修
1,605万8千円
（全額一般財源）

◆文化会館大ホールの移動観覧席改修のための経費。

〔寄付採納〕

◆第一生命労働組合函館営業職支部

◆執行委員長 佐々木道也 様
DVD（児童福祉推進のため）

◆株式会社五勝手屋本舗
代表取締役 小笠原敏文 様
現金10万円（図書館図書充実のため）

◆〔請願〕

◆令和4年度の米政策に関する請願〔採択〕

◆〔意見書の提出〕

◆令和4年度の米政策に関する意見書〔原案可決〕



改修される文化会館大ホール観覧席

第二回臨時会

2月22日に第2回臨時会が行なわれ、一般会計の補正について審議し、原案どおり可決、閉会しました。
内容は次のとおりです。

〔一般会計補正予算〕

◆町道除雪対策
1,471万4千円
（全額一般財源）

◆車両管理 378万9千円
（全額一般財源）

◆降雪量の大幅な増大に伴う町道の除雪経費。

◆南が丘小学校・江差北小学校複合遊具整備
3,980万円
（全額国庫支出金）

◆南が丘小学校と江差北小学校に児童が望む複合遊具を各1基整備するための経費。



児童が選定した木製遊具

全員協議会 を開催しました！

1月25日から2月22日までに開催した全員協議会について、その内容をお知らせします。

1月25日

- ・江差町役場及び江差町における新型コロナウイルス感染状況等について
- ・江差町文化会館移動観覧席の修繕について

2月22日

- ・令和4年度江差町予算概要について
- ・令和4年度一部事務組合予算概要について
- ・財政基盤強化に向けた取組について
- ・町営レストランについて
- ・北の江の島構想（素案）について
- ・小学校遊具の整備について
- ・64歳以下の3回目ワクチンについて



全員協議会の様子



新型コロナウイルスワクチン接種の様子

出欠状況をお知らせします！

令和4年1月1日から3月31日の出欠状況です。斜線部分は出席する必要のない会議です。

会議名	会議日	総務産業常任委員会						社会文教常任委員会				議長	
		小梅 洋子(委)	小林 くにこ(副)	飯田 隆一	室井 正行	塚本 眞	大門 和幸	小野寺 真(委)	出崎 太郎(副)	薄木 晴午	西海谷 望		萩原 徹
第1回定例会	3月14日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3月15日	○	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回臨時会	1月25日	○	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○	○	○
第2回臨時会	2月22日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全員協議会	1月25日	○	○	○	●(私用)	○	○	○	○	○	○	○	○
	2月22日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務産業常任委員会	2月22日	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△
社会文教常任委員会	1月25日	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	△
	3月1日	△	△	△	△	△	△	○	○	●(私用)	○	○	△
	3月7日	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	△
議会広報特別委員会	1月11日	△	○	△	△	△	△	○	○	△	△	△	△
議会運営委員会	1月25日	○	△	○	●(私用)	○	△	○	△	△	△	○	○
	2月18日	○	△	○	○	○	△	○	△	△	△	○	○
	3月7日	○	△	○	○	○	△	○	△	△	△	○	○

○：出席 ▲：欠席（公務） ●：欠席（傷病・出産・育児・看護・介護・私用）

議会で決まったけど、その後はどうなった？

平成29年第1回定例会から令和3年第1回定例会まで5か年に渡って議決された、町道砂川4号通り改良工事が本年3月に完成しました。
(実施設計や調査委託料、工事費など総額は約1億7,157万円)



改良前



改良後

議会の動き

- 1月11日 ◆広報特別委員会
- 1月25日 ◆議会運営委員会
 - ・第1回臨時会の運営について
 - ・第1回定例会の運営について
- ◆全員協議会
- ◆第1回臨時会
- ◆社会文教常任委員会
 - ・学校施設整備に関する事務調査

- 2月18日 ◆議会運営委員会
 - ・第2回臨時会の運営について
 - ・第1回定例会の運営について
- 2月22日 ◆全員協議会
- ◆第2回臨時会
- ◆総務産業常任委員会

- 3月1日 ◆社会文教常任委員会
 - ・学校施設整備に関する事務調査
- 3月7日 ◆議会運営委員会
 - ・第1回定例会の運営について
- ◆社会文教常任委員会
 - ・学校施設整備に関する事務調査
- 3月14日 ◆第1回定例会
- 3月22日 ◆江差町・上ノ国町学校給食組合議会第1回定例会
- ◆南部松山衛生処理組合議会第1回定例会
- ◆檜山広域行政組合議会第1回定例会

みんなの議会 傍聴しませんか 次の定例会は6月です。

日程は、町広報誌やホームページでお知らせします。

江差町議会本会議は、どなたでも傍聴することができます。

町民の皆様が選んだ議員の活動状況や、町政の方針などを議場で確かめましょう。

議会の傍聴は簡単で、都合の良い時間で傍聴できます。

皆様の傍聴をお待ちしております。

今号の表紙

☆江差町クリーンアップ作戦

4月17日、毎年恒例の江差町クリーンアップ作戦が実施されました。

江差フェニックス野球スポーツ少年団の選手たちも参加して、たくさんのゴミを拾い、町の環境美化に役買ってくれました。

今年もチームの活躍を期待します。



(撮影者：西海谷 望 議会広報特別委員会委員)

議会からのお願い 議会だより取材のため、議員が写真撮影に伺うことがあります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



この用紙は、原材料の一部に道産間伐材を使用しています